

淡路島のミドリシジミについて

堀 田 久

ミドリシジミは、近畿以北では山地・平地共に広く分布するが、中国や四国では山地性となり、九州においては九重山塊にのみ分布する。淡路島は本州と四国の中間に位置するため、本種の分布については極めて興味深いものがある。

筆者は1946年6月に洲本市安乎町において1♂を採集したが、その後西宮市に転居したため詳しく調査する機会がなかった。数年前から郷里の淡路島に帰り、何度か本種を目撃したが、特に今年は終令幼虫と成虫をかなり採集したので、これまでの知見を報告しておきたい。

1. 分布と食樹

これまでに確認した産地と、それぞれの地点の標高は次のとおりである。なお、津名郡津名町大町畑は登日邦明氏の記録で、他はすべて筆者が確認したものである。

洲本市安乎町南	90 m	(幼虫, 成虫)
洲本市安乎町中田	20 m	(幼虫, 蛹, 成虫)
洲本市安乎町北谷	50 m	(幼虫)
洲本市中川原町三木田	50 m	(幼虫)
三原郡南淡町大日ダムの下	120 m	(幼虫)
津名郡津名町大町畑	65 m	(成虫)

このように淡路島では平地や低山地に産し、発生する個体数も極めて多い。なお、これまでに確認した食樹はハンノキで、これは川原、池畔、沼などの湿地や田の畦などに多く自生している。今までの調査から推定して、本種は島内各地のハンノキ林に発生しているものと考えられる。

2. 成虫の出現期

成虫の出現期は、同じ地域でも年によってある程度の違いがあるが、淡路島における本種の発生は、阪神地方に比較するとかなり早いように思う。次にあげたのは、これまでの成虫の採集記録である。

1946年6月10日 洲本市安乎町南 1♂

1973年6月1日	洲本市安乎町南	1♂
1973年6月3日	洲本市安乎町中田	5♀
1973年6月3日	洲本市安乎町南	9♂3♀
1973年6月9日	洲本市安乎町南	17♂6♀

3. 雌の各型の出現率

ミドリシジミの♀の翅表は変異に富み、翅表が一様に暗褐色のものをO型、前翅中室外方に橙色斑を持つものをA型、前翅基半に青色斑を持つものをB型、橙色斑と青色斑の両方を持つものをAB型と呼んで区別している。各型の出現率は産地によって異なり、北海道ではB型やAB型が多く、中部以西の本州ではO型が多いということである。

本年度、洲本市安乎町において採集した（終令幼虫から飼育したものを含む）ものについて、各型の出現率を調べてみたところ次のような結果を得た。

なお、前翅表面の青色斑には、極めて顕著なものからわずかに青色鱗を持つものまで、連続的な変異がみられるので、中室に青色斑が少しでも認められるものはB型に入れることにした。したがって、O型といっても一様に暗褐色ではなく、すべての個体の翅表に多かれ少なかれ青色鱗が散在している。

雌 型	個体数	出現率(%)
O型(暗褐色)	14	40
A型(橙色斑)	8	23
B型(青色斑)	8	23
AB型(橙色斑と青色斑)	5	14

4. 蛹化場所と寄生率

本種の蛹化場所については、図鑑類にも記載されていないようである。一度確認したいと思っていたので、今年の5月から6月初旬にかけて、食痕のみられるハンノキを多数調べたが、葉や枝、幹には蛹は全く見られなかった。6月1日に洲本市安乎町中田で、川原のハンノキの根本を探したところ、落葉の中から本種の蛹（羽化直前の♀）が見つかった。なお、ペトリ皿で飼育すると大部分は葉に糸をかけて蛹化し、一部のものはペトリ皿に糸をかけて蛹化した。本年35頭の幼虫を採集して飼育したが、このうち5頭が寄生されていたので、寄生率は約14%になる。

5. まとめ

これまでに調査した地域は島内の一部であり、採集した個体数も少ないため、これだけで淡路島のミドリシジミについて論じることはできないが、今までの調査から次のようなことが言えると思う。

- (1) 淡路島では、平地や低山地のハンノキ林に棲息し、個体数は極めて多い。このような分布は近畿以北と共通であり、四国の分布状況とはかなり違っている。
- (2) 成虫の出現期は年によって差があるが、阪神地方に比較すると、約1週間程度発生が早いようである。
- (3) 雌はO型が最も多いが、A型、B型、AB型もそれぞれ出現する。なお、O型やA型に入れた個体にも青色鱗がみられる。
- (4) 前後翅裏面の地色は一般に濃色で、阪神地方の個体との差異は認められない。

参考文献

1. 白水 隆(1965) 原色図鑑日本の蝶, 北隆館
2. 藤岡和夫(1972) 図説日本の蝶, ニューサイエンス社
3. 堀田 久(1956) 淡路島の蝶類, 兵庫生物Vol. 3, No. 3

南淡町でトラフシジミを採集

淡路島から未記録のトラフシジミを、南淡町で採集したので報告する。

- (1) 三原郡南淡町灘大川 1 ex. 1973年4月18日
- (2) 三原郡南淡町阿万上町 1 ex. 1973年5月5日

なお、南淡町灘ではもう1頭目撃しているの、当地方にはかなり発生しているものと思われる。

(藤平 明)

洲本市でリュウキュウムラサキ

1959年8月20日、洲本市宇山で梅本晃義氏が、リュウキュウムラサキ1♂を採集しておられたことがわかったので報告しておく。藤平氏の採集例は1968年であるためこれが淡路島で最初の記録になる。なお、標本は梅本氏が保管されている。

(坂口 操)